

恵風だより



令和3年2月26日発行 No11

県立特別支援学校整備計画について

校長 坂井 廣幸

2月1日、県立特別支援学校整備計画の最終案が発表になりました。これは昨年の9月に案が提出されて、この案の内容についてパブリックコメントとして広く意見等を集め、その後最終案としてまとめられたものです。

本校は一昨年の台風19号で通学路が大きな被害を受け、一時通行不能となり休校を余儀なくされました。昨年も大雨によって休校となるなど、自然の影響を受けやすい不安な通学路の状況は改善されていません。保護者の方々からは早期の通学路整備と不安な通学路の状況を抜本的に解決するために校舎を移転してほしいとの要望がありました。通学路の状況等については岩手県教育委員会には詳しくお伝えしておりますが、昨年7月PTAとして移転を求める署名活動を行うことになりました。保護者を通じて署名を呼びかけた結果、署名枚数338枚、1,494名分の署名が集まりました。これは予想を超えた署名の数でした。保護者や関係する方々の校舎の移転を求める強い気持ちが表れたのだと思います。

9月の整備計画案では「(1) 各地域の実情に応じた学びの場の整備」という項目の中で、宮古について以下のように記述されています。

エ 学校立地における自然災害への対応 宮古

令和元年10月の台風19号や令和2年4月の大雨の影響による臨時休業など、今後も自然災害が発生する恐れがあるため、様々な自然災害を想定した対策を講じるとともに、隣接する施設の状況の変化も見据えながら、環境整備について関係機関等との連携により検討します。

この9月の案に対して、今回の最終案では以下のように変更されております。

エ 学校立地における自然災害への対応 宮古

令和元年10月の台風19号や令和2年4月の大雨の影響による臨時休業など、今後も自然災害が発生する恐れがあるため、様々な自然災害を想定した対策を講じるとともに、隣接する施設の状況の変化も見据えながら、抜本的な環境整備について関係機関等との連携により優先的に検討します。

このように今回の最終案は前回の案に対して「抜本的」と「優先的」という表現が加わっております。今回の整備計画のその他の部分ではほとんど変更されていなかったのですが、宮古のところにこのように強調する表現が加わっておりますので、今後宮古については自然の影響を受けやすい状況を改善の方向に進めていきたいという強い考えがあると思われます。したがって、署名活動を実施した成果は出ていると思います。ただ、具体的な今後の動きは不明ですのでこれからも何らかの動きが必要かと思えます。今後もPTA連合会の県政要望と合わせて進めていきますのでご協力をお願いします。

小学部 豆まき会

2月3日(水)、豆まき会が行われました。節分の話聞き、ゲームや歌を楽しんでいるところに、鬼が登場！鬼の迫力に負けることなく、豆代わりのカラーボールを投げて退治することができました。

今年度は、2年生から6年生までの縦割りグループが分担して、様々な季節行事の準備や会の進行に取り組んできました。学年の枠を超えて友達同士が力を合わせて取り組むことが定着し、豆まき会を大成功させることができました。



中学部 作業製品販売会

2月18日(木)、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、作業学習等の一年間のまとめとなる作業製品販売会を実施しました。製品がどのように作られているかを紹介する実演コーナーも設けられました。予約販売とも合わせて、たくさんの製品を買っていただくことができ、生徒達の励みになりました。



ベルマーク寄贈

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社岩手支店釜石支社様より、ベルマークを寄贈いただきました。高等部ベルマーク委員会が代表して受け取りました。備品等の購入に使わせていただきたいと思います。



高等部では、希望者を対象に、陸上部、総合スポーツ部、卓球部、文化部の4つの部活動を設けています。今年度は16回実施しました。生徒達にとって、楽しく充実した時間となっています。

